



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 花月園観光株式会社

コード番号 9674 URL <http://www.kagetsuenkanko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 嘉之輔

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 堤 道雄

TEL 045-228-8860

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	289	7.4	75	94.8	77	92.4	74	2.9
26年3月期第3四半期	269	18.2	38	433.1	40	287.5	72	△13.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	4.26	—
26年3月期第3四半期	4.14	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
27年3月期第3四半期	1,486	—	940	—	63.3	—	53.53	
26年3月期	1,466	—	863	—	58.9	—	49.10	

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 940百万円 26年3月期 863百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	382	4.4	91	64.8	84	51.9	81	48.7	4.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	17,666,000 株	26年3月期	17,666,000 株
27年3月期3Q	87,929 株	26年3月期	83,040 株
27年3月期3Q	17,579,600 株	26年3月期3Q	17,584,133 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策などにより企業収益や雇用情勢が改善しつつあり、緩やかな回復基調の動きが見られるものの、消費税増税に伴う物価の上昇、電気料金の値上がりなど、消費活動を抑制する要因により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が事業の主体をおく競輪業界におきましても、車券売上高の減少傾向に歯止めがかからないなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は各サテライトの更なる効率的な管理・運営に努め増収を図ってまいりました。当社の業務受託先であるサテライト横浜においては、投票機器の更新を行い、1日最大4場発売を実現しております。また、平成25年6月に営業を再開したサテライトかしまは、業務委託先を通して積極的に宣伝広告・ファンサービス等を行い順調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2億8千9百万円(前年同四半期 2億6千9百万円)となりました。営業利益は7千5百万円(前年同四半期 営業利益 3千8百万円)、経常利益は7千7百万円(前年同四半期 経常利益4千万円)、四半期純利益はサテライトかしま運営協議会からの受取設備負担金5百万円を特別利益に計上したこと等により、7千4百万円(前年同四半期 四半期純利益7千2百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1億6千6百万円(前事業年度末 2億9百万円)となり前事業年度末に比べ4千3百万円減少いたしました。これは主に、売掛金が1千万円、立替金が1千4百万円増加したものの、未収入金が3千3百万円、短期貸付金が3千5百万円減少したことによるものであります。固定資産は13億2千万円(前事業年度末12億5千6百万円)となり、前事業年度末に比べ6千4百万円増加いたしました。これは主に、減価償却により有形固定資産が3千1百万円減少したものの、サテライトかしまの監視カメラ設置工事による有形固定資産9百万円の計上、差入保証金5千万円並びに長期貸付金が3千5百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は14億8千6百万円(前事業年度末 14億6千6百万円)となり、前事業年度末に比べ2千万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1億1千9百万円(前事業年度末 1億2千1百万円)となり前事業年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に、未払消費税等が1千4百万円増加したものの、リース債務が1千1百万円、預り金が6百万円減少したことによるものであります。固定負債は4億2千6百万円(前事業年度末4億8千2百万円)となり、前事業年度末に比べ5千5百万円減少いたしました。これは主に、長期割賦未払金が5百万円増加したものの、長期借入金が3千4百万円、長期リース債務が2千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5億4千5百万円(前事業年度末 6億3百万円)となり、前事業年度末に比べ5千7百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は9億4千万円(前事業年度末 8億6千3百万円)となり、前事業年度末に比べ7千7百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益が7千4百万円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は.63.3%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年11月7日に公表いたしました業績予想について本資料において修正しております。

なお、3. 四半期財務諸表 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)に記載のとおり、当社は平成27年1月30日に開催の取締役会において、株式会社サテライト横浜の全株式を取得し子会社化することを決議いたしました。これに伴い、平成27年3月期期末決算より連結決算へ移行いたします。通期連結業績につきましては、本日発表の「連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,283	54,457
売掛金	66,538	76,852
短期貸付金	40,000	5,000
未収入金	40,969	7,521
立替金	6,639	21,112
その他	1,320	1,249
流動資産合計	209,752	166,194
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	331,326	319,674
構築物(純額)	19,071	18,134
機械及び装置(純額)	398	314
車両運搬具(純額)	38	38
工具、器具及び備品(純額)	2,598	9,437
リース資産(純額)	131,122	114,501
土地	443,206	443,206
有形固定資産合計	927,764	905,307
無形固定資産	10,885	10,253
投資その他の資産	318,032	405,140
固定資産合計	1,256,682	1,320,701
資産合計	1,466,435	1,486,895

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	46,200	46,200
リース債務	50,932	39,458
未払金	12,755	12,981
未払消費税等	—	14,995
その他	11,191	5,771
流動負債合計	121,079	119,406
固定負債		
長期借入金	160,150	125,500
リース債務	128,060	102,869
繰延税金負債	21,530	23,287
退職給付引当金	22,558	22,558
負ののれん	14,925	11,801
長期預り金	130,000	130,000
その他	5,000	10,504
固定負債合計	482,224	426,520
負債合計	603,304	545,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	883,300	883,300
資本剰余金	399,649	399,649
利益剰余金	△420,828	△345,967
自己株式	△10,378	△10,628
株主資本合計	851,743	926,354
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,388	14,613
評価・換算差額等合計	11,388	14,613
純資産合計	863,131	940,967
負債純資産合計	1,466,435	1,486,895

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	269,383	289,414
売上原価	37,240	47,760
売上総利益	232,142	241,653
販売費及び一般管理費	193,206	165,804
営業利益	38,936	75,849
営業外収益		
受取利息	4,941	4,167
受取配当金	1,041	1,064
負ののれん償却額	3,123	3,123
保険解約返戻金	—	4,493
その他	586	186
営業外収益合計	9,693	13,035
営業外費用		
支払利息	8,098	11,245
その他	374	374
営業外費用合計	8,472	11,619
経常利益	40,156	77,265
特別利益		
受取補償金	37,412	—
受取設備負担金	—	5,131
特別利益合計	37,412	5,131
特別損失		
関係会社清算損	—	1,393
特別損失合計	—	1,393
税引前四半期純利益	77,569	81,003
法人税、住民税及び事業税	4,788	6,142
法人税等合計	4,788	6,142
四半期純利益	72,780	74,861

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式取得(子会社化)について

当社は、平成27年1月30日に開催の取締役会において、株式会社サテライト横浜の全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。

①株式の取得の経緯及び理由

当社は、事業基盤の安定化と有利子負債の圧縮を図るため、平成23年11月7日付をもって、5年以内の株式の買戻しを条件として、株式会社サテライト横浜の全株式を株式会社アーキテクトエムに譲渡いたしました。

株式譲渡後当社は、平成25年3月期に6期ぶりの営業利益及び経常利益の確保に伴い全利益項目で黒字を計上し、引き続き、前期(平成26年3月期)も全利益項目で黒字を計上いたしました。

このような状況のもと、更なる事業基盤の強化を図るべく、本来の買戻し期限を前倒しし、株式会社サテライト横浜の全株式を取得することといたしました。

②異動する子会社の概要

- |         |                              |
|---------|------------------------------|
| a. 商号   | 株式会社サテライト横浜                  |
| b. 事業内容 | 競輪及びオートレース専用場外車券売場の施設賃貸・運営受託 |
| c. 資本金  | 80,000千円                     |

③株式取得の相手先の概要

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| a. 商号   | 株式会社アーキテクトエム    |
| b. 事業内容 | 建築工事の設計、施工及び監理他 |
| c. 資本金  | 1,000千円         |

④取得株式数、譲受価額及び取得前後の所有株式の状況

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| a. 異動前の所有株数  | 0株 (所有割合 0.0%)          |
| b. 取得株式数     | 8,000株 (譲受価額 554,000千円) |
| c. 異動後の所有株式数 | 8,000株 (所有割合 100.0%)    |

⑤株式取得の日程

平成27年3月31日